

令和6年度 学校評価一覧

小坂町立小坂小学校
小坂町立小坂中学校

学校教育目標		「生きる力」と「ふるさとを愛する心」をもった児童生徒の育成 ～つながり、かかわり、豊かに学ぶ～																			
評価項目	具体的内容	自己評価A		外部評価		評価指標	実践課題	主な取組	主な担当	自己評価B		外部評価									
		前期	後期	前期	後期					前期	後期	前期	後期								
児童・生徒の状況	1 学ぶ力・基礎学力の向上	意欲的に学習に臨み、基本的学習習慣を身に付けて、学力を向上させようと努力している。	おおむね良好	おおむね良好	おおむね良好	おおむね良好	①意欲的な学習への取組	主体的に学習に取り組む意欲と態度の向上 「問い」を発する力や読解力の向上 学びのサイクルづくり	「学習の約束」の確認と定着、小坂スタンダードの推進 “あかしあ”のある授業、言語活動の充実、読書習慣の定着 家庭学習の手引き、家庭学習強調週間、全教員による家庭学習点検	研究部 学習指導部	3	3	3	3							
							②学力の定着・向上	諸検査や学習状況調査の活用 諸検査や学習状況調査の回復指導	授業の充実、類似問題の活用、補充等の学習指導 諸検査結果の検証、弱点克服に向けた回復指導		研究部 学習指導部	3 3	3 4	3 3	3 3						
	2 自主的・自律的な生活	自他の関わりを深め、互いに認め合い、切磋琢磨し合いながら豊かな人間性を育み、自律的に学校生活を送っている。	おおむね良好	おおむね良好	おおむね良好	良好	③開かれた心と自立心	良好な人間関係を築こうとする意識の向上 他人を思いやる心、人のために尽くす姿勢と行動力の育成	授業や短学活での場づくり、学校生活アンケート ボランティア活動、施設訪問、地域行事への参加	特活指導部	3 3	3 3	3 3	3 3							
							④集団生活の向上	特別活動を要とした関わり合う活動の充実 児童会活動、生徒会活動等、集団としての力の向上	感動のある体験活動、課題発見・探究活動の工夫 主体的な計画と運営、活動内容の工夫、リーダーの育成		特活指導部	3 3	4 4	4 3	4 4						
							⑤居心地のよい学級生活	互いに認め合う学級づくりの推進 学級の一人としての自覚と責任の育成	学級会を軸とした話し合い活動の充実、言語環境の整備 係活動、学級活動の充実、学級力向上アンケート		特活指導部	3 3	3 3	3 3	3 3						
	3 健全な生活習慣と健やかな体	あいさつや言葉遣い、時間などを意識し、規律ある落ち着いた生活を送ろうとしている。また、食や運動を通して健康や体力について関心をもち、健康の保持増進に努めている。	おおむね良好	おおむね良好	おおむね良好	おおむね良好	⑥基本的な生活習慣の形成	相手に届く元気なあいさつや返事の習慣化 規律ある落ち着いた生活づくり	集会、児童会・生徒会活動、継続的な指導 時間厳守の生活、学校生活アンケート	生徒指導部	3 3	3 3	3 3	3 3							
							⑦健全で共感的な心の育成	いじめや不登校の未然防止と迅速な対応・支援 共感的な教育相談活動の実施	児童生徒支援担当教員を中心にした即時対応、Q-Uの活用 教育相談、三者面談、関係機関との連携		生徒指導部	3 3	3 3	3 3	3 3						
							⑧健康の保持増進、食育の推進	望ましい生活リズム、食習慣の形成 主体的に健康管理を考えた生活	早ね早おき朝ごはん、食育指導の充実、メディアコントロール 病気の予防・治療指導、保健だよりの発行	生徒指導部	3 3	4 3	3 3	3 3							
							継続的な体力づくりの実践	体育の授業、業間運動、委員会活動、部活動指導	3		3	3	3								
	4 ふるさとに対する誇り・キャリア発達	郷土愛が深まり、社会的・職業的自立に必要な基盤となる資質・能力が身に付いている。	おおむね良好	おおむね良好	おおむね良好	良好	⑨郷土愛と豊かな心	ふるさとでのよさの発見、愛着心の醸成 社会を支える自覚と創造性の涵養	校外学習、地域学習、地域人材や教材の活用 総合的な学習の時間の充実	教務部	4 4	4 4	4 4	4 4							
							⑩学び、働き、生きる実感	自己理解と社会的・職業的自立の実感 将来構想に基づいて、見通しと計画をもって実践する力の育成	職業教育活動、ボランティア活動 進路学習、キャリアノート、夢コーナー		特活指導部	3 3	3 3	3 3	4 4						
	学校運営の状況	5 安全・安心	児童生徒の安全確保と危機回避意識の向上に取り組む、危機管理が組織的に進められている。	良好	良好	良好	良好	⑪安全教育と安全管理	登下校・諸活動における安全指導の徹底 危機管理(回避)意識の高揚と緊急時対応の体制整備 施設・設備の保守点検と安全確保	交通安全教室、危険箇所確認・作成 避難訓練の計画的な実施 日常の点検及び業者による保守点検の計画的な実施	生徒指導部 教頭 総務部	3 4 4	3 4 4	4 4 4	4 4 4						
6 組織運営								特色ある学校づくりが計画的・組織的に推進されている。	おおむね良好	良好		良好	良好	⑫明確で責任ある運営体制	経営方針や実践課題・施策の共有化と学校評価の活用 学校課題の解決に向けた提案と責任のある組織運営 小中一貫教育を充実させるための実践的な組織体制の構築	開かれた方針と評価、評価面談 PDCAサイクルを機能させた組織運営、連絡・連携の深化 組織の重点化と改編、小中指導部の連携強化	校長 教頭	3 3 3	3 4 4	4 4 3	4 3 4
														⑬教育課程の編成・実施	小中一貫教育のよさを引き出す教育課程の編成・実施 諸活動における、子どもの心に響く指導の工夫	行事予定・週報の作成、乗り入れ授業・合同行事の実施 主体性を引き出す活動計画、活躍する場や認められる場の設定		教務部 特活指導部	3 3	4 3	3 3
		⑭事務運営	教育予算の効率的でメリハリのある運用と適正な会計処理 教員が子どもに向かう時間と場を確保するための事務支援	重点配分事項の整理と調整、諸帳簿の整理・管理 学年会計調査処理、出張関係事務等	総務部	4 4	4 4				4 4			4 4							
7 研究・研修		教育目標の実現に向けて学校力のレベルアップのために、教職員の研究・研修が活発に行われている。	おおむね良好	おおむね良好	おおむね良好	おおむね良好	⑮研究の推進・研修の充実	互いに実践を開き高め合う研究の推進 教育諸課題解決のための研修の充実	研修の機会の確保と充実、小・中教科部会の活性化 自主研修と合同研修(生徒指導研修・特別支援教育研修等)	研究部 教頭	3 3	3 3	3 3	3 3							
							⑯授業改善	主体的な学びの姿勢を育てる授業構築・実践 学習内容の連続性や系統性を踏まえた教科指導 諸調査分析結果の日常授業への反映	小坂スタンダード“あかしあ”の実践、ねらいと整合する評価 ゴールを明確にした単元構想、見方・考え方を働かせた授業構築 児童生徒評価に学ぶ、分析を生かした授業設計		研究部	3 3	3 3	3 3	3 3						
8 保護者・地域との連携		学校の取組が保護者や地域に伝えられ、地域の教育力が有効に活用されている。	良好	良好	良好	良好	⑰情報の発信	広報活動の充実	学校報、学年通信、HP、各種便り、学校メール、町広報	教頭	4 4	4 4	4 4	4 4							
							⑱地域の教育力の活用	地域人材・素材の活用、地域学校協働活動の実施	総合的な学習、ふるさと教育、クラブの時間、地域行事		4 4	4 4	4 4	4 4							

文責：校長 奈良 育

本校教育活動の後期評価

12月に児童・生徒、保護者それぞれに、今年度2回目の学校生活に関するアンケートを行い、回答していただきました。年末を控えてご多用の中、ご協力いただき、ありがとうございました。

2月3日には、学校運営協議会(委員8名参加)で、学校評価をしていただきました。授業参観の後、保護者の皆様方からご協力いただいたアンケート結果のデータなどを参考にしながら、本校の教育活動について、運営委員の方々から外部評価とご助言をいただきました。新年度に向けて、さらなる充実・改善に生かすよう努めますので、ますますのご理解とご支援・ご協力をお願いいたします。1月14日付け文書「学校評価アンケートの回答について(お礼)」でアンケート結果数値は紹介いたしましたが、以下に、後期学校評価の概要を記載しました。前述「学校評価アンケートの回答について(お礼)」とあわせてご覧ください。

評価区分と数値：きわめて良好、良好、おおむね良好、やや不十分、努力を要する

I 学ぶ力・基礎学力の向上

☆授業に対する意欲 ☆家庭学習の習慣化 ☆読書に対する意欲

自己評価：おおむね良好 外部評価：おおむね良好

【来年度の学校の主な改善策等】

- ・年度当初の職員会議や児童・生徒への連絡時等に「学習の約束・手引き」をしっかりと確認して伝達していく。学期毎に重点項目を設定したり、家庭学習の評価・紹介等を児童会活動で工夫したりして学年相応の取組をさせていく。
- ・諸調査(全国学力・県学習状況・C R T等)の結果の検証・補完活動は今後も確実に行う。
- ・授業でのI C T機器(タブレット・電子黒板等)の活用については、児童生徒の使用ルールを確認し、教職員研修を継続して効果的な使用を目指す。
- ・読書活動は地域ボランティアの読み聞かせ活動も含めて良好なので、今後も推進する。

【学校運営協議会からの助言等】

- ・授業で児童生徒がお互いに学び合う「ふかめタイム(小)」「共創タイム(中)」をさらに効果的に行う場面を意識してほしい。
- ・I C T機器を児童生徒が使いこなしていて、工夫された授業が多い。
- ・教師自身が楽しんでいて、教えたいという意欲が伝わってくる。
- ・保護者の読書への評価が低いことが気になる。一緒に読書する機会がもてないか。

II 自主的・自律的な生活

☆思いやりの心 ☆達成感や感動 ☆相手や周囲に配慮した言動

自己評価：おおむね良好 外部評価：良好

【来年度の学校の主な改善策等】

- ・「特活だより」を発行し、どの学級も効果的な活動ができ、より良い学級集団を形成できるようにする。学級力アンケートの掲示方法や活用方法をさらに工夫していく。
- ・集会活動は今年度並みの回数で行うが、礼法・発表等の事前指導や事後の振り返りを充実させる。小中合同の集会は効果が大きいので、今後も効果的に行う。
- ・児童会・生徒会の常時活動や小中合同活動は、基本的に子どもたちに企画させ、実践させることを徹底する。

【学校運営協議会からの助言等】

- ・児童生徒が企画して様々な集会が行われ、それぞれが役割を果たし、学校生活を楽しみ、自主性が育っている。今後も各種集会活動を大切にしていきたい。
- ・アンケート結果からも児童生徒が行事等で達成感を感じていることが分かる。
- ・小坂小150周年記念のコラボアート(中学生が図案を描き、小学生が色塗りをした)からも小中のつながりを感じた。

III 健全な生活習慣と健やかな体

☆相手に届く元気なあいさつや返事 ☆規則正しく規律ある生活 ☆体力の向上

自己評価：おおむね良好 外部評価：おおむね良好

【来年度の学校の主な改善策等】

- ・小中ともに「生活のきまり」を年度当初に職員会議でしっかりと確認し、児童生徒に集会等で周知・徹底していく。
- ・児童生徒の安心できる学校生活の確保のために、スクールカウンセラーのより実効的な活用を図る。授業に入っていただくことも考えていく。

- ・毎月実施の学校生活アンケートを継続し、小さな点も見逃さずに相談活動を充実させ、事案解決を図る。Q-U調査も分析を詳細に行い、より良い人間関係作りに役立てたい。
- ・体育科の着衣水泳を、夏休みの河川・海での安全対策の意味もこめて、新規でプール設置者(小坂町)と相談して可能であれば1学期末に行いたい。

【学校運営協議会からの助言等】

- ・毎日の給食メニューが工夫されているが、食べ残しが気になる。たくさん食べさせたいが、年々児童生徒が少食になってきているように感じる。
- ・給食代替食があるが、食物アレルギーの児童生徒の心情には十分な配慮をしてほしい。
- ・小中連携を生かし、中学校の保体科教員が小学校で準備体操の大切さを教えてほしい。

IV ふるさとに対する誇り・キャリア発達

☆ふるさと小坂が好き ☆夢の実現に向けての取組

自己評価：おおむね良好 外部評価：良好

【来年度の学校の主な改善策等】

- ・総合学習を中心とした校外活動は小中共に充実していたので、9年間の系統性を重視しながら今後も継続する。内容や行き先変更の際には必ず、他学年との系統性を確認する。
- ・中学校での学校祭でのふるさと・キャリア学習発表を全員で行ったのは成功であった。生徒も生き生きと発表しており、ふるさとを愛する心が醸成されたと思う。
- ・将来の夢や希望をもっている児童生徒が増えたのはありがたい。進路学習については、通信を定期的に発行したり、事業の準備を計画的に進める等して充実を図っていく。

【学校運営協議会からの助言等】

- ・学校が小学1年から中学3年までに様々な取組を行って「小坂が好き」な児童生徒を育て、保護者の啓発を行ってくれていることに感謝している。
- ・児童生徒には、収入等ではなく仕事の内容等で、発達段階に応じた夢をもってほしい。
- ・中学生のボランティア活動(町社会福祉協議会事業等)への参加体制が素晴らしい。

V 組織・運営

☆小中一貫教育のよさ

自己評価：良好 外部評価：良好

【来年度の学校の主な改善策等】

- ・半年ごとに小中合同で学校運営反省を実践している。今後も建設的に運営していきたい。
- ・小中の乗り入れ授業(小学教員→中学授業、中学教員→小学授業)等は、ねらいを明確にして教員の打ち合わせを綿密にしながら、効果が上がるように実践していきたい。
- ・年度後半には「あかしあ集会」等、児童会・生徒会の小中合同事業等が多く行われ、アンケートの組織項目の肯定的回答が増加した。今後も効果的に行っていく。
- ・小中連携しての学校事務処理が適切に行われているので、今後も共同実施を継続する。

【学校運営協議会からの助言等】

- ・どの市町村も少子化が進み、小中一貫教育校が増えている。本校が先進校であるが様々な取組を頑張ってもらいたい。小中の教員交流は教師の勉強や自信につながる。
- ・一貫教育により、中1ギャップ(環境変化による中学への不適応)がないのはいいが、6年生に小学でのリーダーとしての自信をもたせ、区切りを付けて中学に入学させたい。

VI 保護者・地域との連携

☆学校の情報発信 ☆地域の人たちによる活動支援 ☆地域活動への参加

自己評価：良好 外部評価：良好

【来年度の学校の主な改善策等】

- ・校外学習も多く、来校講師も多い。地域の方々にはお世話になり、ふるさと・キャリア教育につながり、感謝している。今後も地域との連携・交流に力を入れていく。
- ・保護者の方々から学校評価の際に様々なご意見をいただいた。参考とさせていただいた事案も多く感謝している。今後ご助言をいただいて、丁寧に対応していきたい。

【学校運営協議会からの助言等】

- ・教員アンケート「地域の方からの活動」の評価が高くない。中学校での地域学校協働本部事業をもう少し考えていきたい。男性ボランティア員を開拓していきたい。
- ・中学校の部活動の地域移行がなかなか難しい。小学校の部活動・スポーツ少年団活動もさまざまな課題がある。移行するまで頑張ってもらいたい。

今年度、2回実施(7・12月)させていただいたアンケートに回答してくださった保護者の皆様や、3回開催された学校運営協議会の委員の方々にあらためて感謝しております。

本校教育活動について、年度を通した評価を受け止めつつ、低い数値の項目などについては、さらに取組等を工夫して令和7年度を迎えたいと思います。お気付きの点などございましたら、いつでも遠慮なくお知らせいただけたら幸いです。新年度もどうぞよろしくお願いいたします。